

大軍拡の前倒し「台湾有事発言」「核は必要」危険な高市早苗政権に

平和を守れ！ 軍拡NO！の声を大きく



田中泰宏弘前副市長と「賃上げ応援奨励金」について意見交換



憲法9条つがる女性の会で戦争体験を語って下さった花田洋子さん・佐藤朗子さんと

安藤はるみの活動日誌

12月16日 大学病院東側交差点朝街宣

16日～18日 県議団国内派遣調査（写真）

19日 安保法制廃止を求める19日行動

20日 戦争をかたり継ぎ平和の種を育てるつどい

21日 県議会報告会（写真）

23日 椋形朝街宣（写真）

24日 青森県東方沖地震に関する緊急要請（写真）

25日 商工会議所会頭、弘前副市長（写真）、

りんご協会会长（写真）、

JAつがる弘前組合長意見交換

2026年1月1日



新・アジサイだより

安藤はるみの

SIDE-A



ひのえうま

情熱もってやつたるで

（はるみのワクワク川柳）



朝の街で平和を訴える

（ 国内派遣 ）

ほつとタイム



日本共産党県議団の3人は、2025年12月16日から18日まで「議員派遣制度」の「国内派遣」を活用して長野県、新潟県、富山県で調査をしてきました。●長野県では、長野県社会福祉協議会が行っている災害時の医療ケア児家庭に対する電源確保と日常的な信頼関係づくりについて。医療ケア児が福祉避難所に避難した時に、電源確保のために電気自動車が手配され充電できる仕組みになっています。また、医療ケア児の理解促進のための子どもたち向けの紙芝居も作られていました。とても大切な取り組みを学びました。●新潟県では、東京電力柏崎刈羽原発について。むつ使用済み核燃料中間貯蔵施設は、この原発から運び込まれています。私たちが行った時は再稼働を了承するとした花角知事の判断を新潟県議会が追認するかどうか注目されています。一番気になっていた青森県に運び込まれ50年間保管された使用済み核燃料を、再処理してできたMOX燃料を同原発で使った見込みについて質問すると「ない」とのこと。となれば再処理されたプルトニウムと核のゴミがふえるばかりです。又、福島第一原発事故の未解明なまま突き進んでいくことは許されません。●富山県では、全国小水力発電推進協議会代表理事をされている神坂博亨富山国際大学教授を訪ね、富山市や土地改良区が行っている小水力発電について講義を受け、現地を案内していただきました。先生より「1本の川を活用して水力発電をする」とお話を感銘しました。このあと県庁に行き自然保護課よりスマート対策DX「Bアラート」についての調査をしました。人工知能（AI）を駆使した監視システム開発の経緯などを聞きました。

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021
9:00～14:00（土・日・祝日左記時間以外は留守電対応）

自宅0172-35-2270

Eメール ando-harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http://ando-harumi.com/

X（旧）Twitter 安藤はるみ 日本共産党 で検索 フォロワー918人

12月の相談件数 2件
ホームページアクセス数 150,105件

日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの
新・アサイだより

経済産業部

所管事項

問1 ハーネスの創業支援について(企業立地・創出課)

(1)県内における昨年度のハーネス者の創業実績について伺いたい。

答弁：令和6年度分の実績は223名で令和4年度以降3年連続で200名超えとなりました。「さらに男女別、年代別、業種別をたたずと男50.2%、女49.8%、年代で一番多いのが40代で35.4%、業種では飲食が29.6%で一番多い」

※ハーネスのハーネスは「出身地に戻る」「身地に近い地方都市に移る」「ターンは田

(2)ハーネス者の創業の推進に向けて、県はどのように取り組んでいるか伺いたい。
答弁：県内8市10箇所の支援拠点を設け、無料で資金繰りの助言を行っている。相談者数は200名になった。

★青森県の活性化と人口増に貢献いただけよう更なる取り組みの強化を求めました。

問2 県内事業者の知的財産活用支援について(産業イノベーション推進課)

(1)県内事業者の知的財産活用促進に向けた県の取組と課題について伺いたい。

答弁：県では知的財産の活用等を推進するため平成24年4月に一般社団法人青森県発明協会との共同運営による青森県知的財産支援センターを開設し、県内事業者等

SIDE-B

アサイ便りを読んでの感想や、委員会など議会で取上げて欲しいことなどありましたらお寄せください♪

に対して知的財産の普及啓発、保護や活用など知的財産に関するあらゆる相談にワンストップで対応している。

問4 県産りんごの東南アジアへの輸出促進について(県産品販売・輸出促進課)

(1)令和6年産及び令和7年産りんごの輸出状況について伺いたい。

答弁：本年9月のアンケート調査で、自社と知的財産権が関係があるかわからないと回答した企業の割合が3割を超えており、知的財産を自社の経営にどのようにいかしていくか、などの理解の促進が課題であると認識している。

令和6年産りんごの輸出量は、3万202トンで前年比2%の減、輸出金額は約182億円で8%の増、国地域別の輸出量は台湾向けが全体の76%、香港が20%、タイやシンガポールなど東南アジアが4%。令和7年度産については前年同期比20%の減、現地で需要がある大玉が少なかつたこと、産地価格が高値であった影響から前年を下回っている。

円滑化を働きかけていく、とコメントしていることから県としては今後の進展を注視しながら適切に対応する。

経済産業部

所管事項

問1 ハーネスの創業支援について(企業立地・創出課)

(1)県内における昨年度のハーネス者の創業実績について伺いたい。

答弁：令和6年度分の実績は223名で令和4年度以降3年連続で200名超えとなつた。「さらに男女別、年代別、業種別をたたずと男50.2%、女49.8%、年代で一番多いのが40代で35.4%、業種では飲食が29.6%で一番多い」

※ハーネスのハーネスは「出身地に戻る」「身地に近い地方都市に移る」「ターンは田

(2)ハーネス者の創業の推進に向けて、県はどのように取り組んでいるか伺いたい。
答弁：県内8市10箇所の支援拠点を設け、無料で資金繰りの助言を行っている。相談者数は200名になった。

★青森県の活性化と人口増に貢献いただけよう更なる取り組みの強化を求めました。

問2 県内事業者の知的財産活用支援について(産業イノベーション推進課)

(1)県内事業者の知的財産活用促進に向けた県の取組と課題について伺いたい。

答弁：県では知的財産の活用等を推進するため平成24年4月に一般社団法人青森県発明協会との共同運営による青森県知的財産支援センターを開設し、県内事業者等

経済産業部

所管事項

問1 ハーネスの創業支援について(企業立地・創出課)

(1)県内における昨年度のハーネス者の創業実績について伺いたい。

答弁：令和6年度分の実績は223名で令和4年度以降3年連続で200名超えとなつた。「さらに男女別、年代別、業種別をたたずと男50.2%、女49.8%、年代で一番多いのが40代で35.4%、業種では飲食が29.6%で一番多い」

※ハーネスのハーネスは「出身地に戻る」「身地に近い地方都市に移る」「ターンは田

(2)ハーネス者の創業の推進に向けて、県はどのように取り組んでいるか伺いたい。
答弁：県内8市10箇所の支援拠点を設け、無料で資金繰りの助言を行っている。相談者数は200名になった。

★青森県の活性化と人口増に貢献いただけよう更なる取り組みの強化を求めました。

問2 県内事業者の知的財産活用支援について(産業イノベーション推進課)

(1)県内事業者の知的財産活用促進に向けた県の取組と課題について伺いたい。

答弁：県では知的財産の活用等を推進するため平成24年4月に一般社団法人青森県発明協会との共同運営による青森県知的財産支援センターを開設し、県内事業者等

経済産業部

所管事項

問1 ハーネスの創業支援について(企業立地・創出課)

(1)県内における昨年度のハーネス者の創業実績について伺いたい。

答弁：令和6年度分の実績は223名で令和4年度以降3年連続で200名超えとなつた。「さらに男女別、年代別、業種別をたたずと男50.2%、女49.8%、年代で一番多いのが40代で35.4%、業種では飲食が29.6%で一番多い」

※ハーネスのハーネスは「出身地に戻る」「身地に近い地方都市に移る」「ターンは田

(2)ハーネス者の創業の推進に向けて、県はどのように取り組んでいるか伺いたい。
答弁：県内8市10箇所の支援拠点を設け、無料で資金繰りの助言を行っている。相談者数は200名になった。

★青森県の活性化と人口増に貢献いただけよう更なる取り組みの強化を求めました。

問2 県内事業者の知的財産活用支援について(産業イノベーション推進課)

(1)県内事業者の知的財産活用促進に向けた県の取組と課題について伺いたい。

答弁：県では知的財産の活用等を推進するため平成24年4月に一般社団法人青森県発明協会との共同運営による青森県知的財産支援センターを開設し、県内事業者等

経済産業部

所管事項

問1 ハーネスの創業支援について(企業立地・創出課)

(1)県内における昨年度のハーネス者の創業実績について伺いたい。

答弁：令和6年度分の実績は223名で令和4年度以降3年連続で200名超えとなつた。「さらに男女別、年代別、業種別をたたずと男50.2%、女49.8%、年代で一番多いのが40代で35.4%、業種では飲食が29.6%で一番多い」

※ハーネスのハーネスは「出身地に戻る」「身地に近い地方都市に移る」「ターンは田

(2)ハーネス者の創業の推進に向けて、県はどのように取り組んでいるか伺いたい。
答弁：県内8市10箇所の支援拠点を設け、無料で資金繰りの助言を行っている。相談者数は200名になった。

★青森県の活性化と人口増に貢献いただけよう更なる取り組みの強化を求めました。

問2 県内事業者の知的財産活用支援について(産業イノベーション推進課)

(1)県内事業者の知的財産活用促進に向けた県の取組と課題について伺いたい。

答弁：県では知的財産の活用等を推進するため平成24年4月に一般社団法人青森県発明協会との共同運営による青森県知的財産支援センターを開設し、県内事業者等

経済産業部

所管事項

問1 ハーネスの創業支援について(企業立地・創出課)

(1)県内における昨年度のハーネス者の創業実績について伺いたい。

答弁：令和6年度分の実績は223名で令和4年度以降3年連続で200名超えとなつた。「さらに男女別、年代別、業種別をたたずと男50.2%、女49.8%、年代で一番多いのが40代で35.4%、業種では飲食が29.6%で一番多い」

※ハーネスのハーネスは「出身地に戻る」「身地に近い地方都市に移る」「ターンは田

(2)ハーネス者の創業の推進に向けて、県はどのように取り組んでいるか伺いたい。
答弁：県内8市10箇所の支援拠点を設け、無料で資金繰りの助言を行っている。相談者数は200名になった。

★青森県の活性化と人口増に貢献いただけよう更なる取り組みの強化を求めました。

問2 県内事業者の知的財産活用支援について(産業イノベーション推進課)

(1)県内事業者の知的財産活用促進に向けた県の取組と課題について伺いたい。

答弁：県では知的財産の活用等を推進するため平成24年4月に一般社団法人青森県発明協会との共同運営による青森県知的財産支援センターを開設し、県内事業者等

経済産業部

所管事項

問1 ハーネスの創業支援について(企業立地・創出課)

(1)県内における昨年度のハーネス者の創業実績について伺いたい。

答弁：令和6年度分の実績は223名で令和4年度以降3年連続で200名超えとなつた。「さらに男女別、年代別、業種別をたたずと男50.2%、女49.8%、年代で一番多いのが40代で35.4%、業種では飲食が29.6%で一番多い」

※ハーネスのハーネスは「出身地に戻る」「身地に近い地方都市に移る」「ターンは田

(2)ハーネス者の創業の推進に向けて、県はどのように取り組んでいるか伺いたい。
答弁：県内8市10箇所の支援拠点を設け、無料で資金繰りの助言を行っている。相談者数は200名になった。

★青森県の活性化と人口増に貢献いただけよう更なる取り組みの強化を求めました。

問2 県内事業者の知的財産活用支援について(産業イノベーション推進課)

(1)県内事業者の知的財産活用促進に向けた県の取組と課題について伺いたい。

答弁：県では知的財産の活用等を推進するため平成24年4月に一般社団法人青森県発明協会との共同運営による青森県知的財産支援センターを開設し、県内事業者等

経済産業部

所管事項

問1 ハーネスの創業支援について(企業立地・創出課)

(1)県内における昨年度のハーネス者の創業実績について伺いたい。

答弁：令和6年度分の実績は223名で令和4年度以降3年連続で200名超えとなつた。「さらに男女別、年代別、業種別をたたずと男50.2%、女49.8%、年代で一番多いのが40代で35.4%、業種では飲食が29.6%で一番多い」

※ハーネスのハーネスは「出身地に戻る」「身地に近い地方都市に移る」「ターンは田

(2)ハーネス者の創業の推進に向けて、県はどのように取り組んでいるか伺いたい。
答弁：県内8市10箇所の支援拠点を設け、無料で資金繰りの助言を行っている。相談者数は200名になった。

★青森県の活性化と人口増に貢献いただけよう更なる取り組みの強化を求めました。

問2 県内事業者の知的財産活用支援について(産業イノベーション推進課)

(1)県内事業者の知的財産活用促進に向けた県の取組と課題について伺いたい。

答弁：県では知的財産の活用等を推進するため平成24年4月に一般社団法人青森県発明協会との共同運営による青森県知的財産支援センターを開設し、県内事業者等

経済産業部

所管事項

問1 ハーネスの創業支援について(企業立地・創出課)

(1)県内における昨年度のハーネス者の創業実績について伺いたい。

答弁：令和6年度分の実績は223名で令和4年度以降3年連続で200名超えとなつた。「さらに男女別、年代別、業種別をたたずと男50.2%、女49.8%、年代で一番多いのが40代で35.4%、業種では飲食が29.6%で一番多い」

※ハーネスのハーネスは「出身地に戻る」「身地に近い地方都市に移る」「ターンは田

(2)ハーネス者の創業の推進に向けて、県はどのように取り組んでいるか伺いたい。
答弁：県内8市10箇所の支援拠点を設け、無料で資金繰りの助言を行っている。相談者数は200名になった。

★青森県の活性化と人口増に貢献いただけよう更なる取り組みの強化を求めました。

問2 県内事業者の知的財産活用支援について(産業イノベーション推進課)

(1)県内事業者の知的財産活用促進に向けた県の取組と課題について伺いたい。

答弁：県では知的財産の活用等を推進するため平成24年4月に一般社団法人青森県発明協会との共同運営による青森県知的財産支援センターを開設し、県内事業者等

経済産業部

所管事項

問1 ハーネスの創業支援について(企業立地・創出課)

(1)県内における昨年度のハーネス者の創業実績について伺いたい。

答弁：令和6年度分の実績は223名で令和4年度以降3年連続で200名超えとなつた。「さらに男女別、年代別、業種別をたたずと男50.2%、女49.8%、年代で一番多いのが40代で35.4%、業種では飲食が29.6%で一番多い」

※ハーネスのハーネスは「出身地に戻る」「身地に近い地方都市に移る」「ターンは田

(2)ハーネス者の創業の推進に向けて、県はどのように取り組んでいるか伺いたい。
答弁：県内8市10箇所の支援拠点を設け、無料で資金繰りの助言を行っている。相談者数は200名になった。

★青森県の活性化と人口増に貢献いただけよう更なる取り組みの強化を求めました。

問2 県内事業者の知的財産活用支援について(産業イノベーション推進課)

(1)県内事業者の知的財産活用促進に向けた県の取組と課題について伺いたい。

答弁：県では知的財産の活用等を推進するため平成24年4月に一般社団法人青森県発明協会との共同運営による青森県知的財産支援センターを開設し、県内事業者等

経済産業部

所管事項

問1 ハーネスの創業支援について(企業立地・創出課)

(1)県内における昨年度のハーネス者の創業実績について伺いたい。

答弁：令和6年度分の実績は223名で令和4年度以降3年連続で200名超えとなつた。「さらに男女別、年代別、業種別をたたずと男50.2%、女49.8%、年代で一番多いのが40代で35.4%、業種では飲食が29.6%で一番多い」

※ハーネスのハーネスは「出身地に戻る」「身地に近い地方都市に移る」「ターンは田

(2)ハーネス者の創業の推進に向けて、県はどのように取り組んでいるか伺いたい。
答弁：県内8市10箇所の支援拠点を設け、無料で資金繰りの助言を行っている。相談者数は200名になった。

★青森県の活性化と人口増に貢献いただけよう更なる取り組みの強化を求めました。